

『三段以下 審査会講評』

教士八段 金田 和久 先生

令和3年3月6日(土)に3月20日の代替えとして三段以下審査会が開催されました。

合格者の皆様、この度はご昇段誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響で十分な稽古ができなかったかもしれませんが目標を達成されて心からお祝い申し上げます。

残念ながら不合格になられた皆様、もう一歩だったと思いますので稽古を積んでまた次回挑戦して下さい。

今回の審査科目実技として各段共通で全剣連居合一本目前、三本目受け流し、六本目諸手突き、七本目三方切り、八本目顔面当てが指定されました。

結果は、

初段 申請者数 26 名 欠席者数 1 名 合格者数 25 名 合格率 96.15%。

二段 申請者数 40 名 欠席者数 1 名 合格者数 38 名 合格率 95%。

三段 申請者数 30 名 欠席者数 1 名 合格者数 25 名 合格率 83.33%

というとても合格率の高い結果でした。

三段以下審査では①正しい着装と作法 ②正確な抜付け、切付け ③正確な血振り、角度 ④正確な納刀 の4項目を留意して評価します。

指定技に関しては解説書の審査上の着眼点を留意して下さい。

当該段位相当の実力があるか否かを審査いたします。

三段以下審査会は現在一級、初段、二段の方が受審しますので、現段位で普段の稽古上留意する点を述べさせていただきます。

「礼法」は受審者の稽古量が表れますので、普段の稽古で時間をかけて心をこめて丁寧にスムーズできるように稽古しましょう。

「一本目 前」は刀法の基本の太刀筋である、横、縦、袈裟の刃筋が入っています。

刃筋がブレたり刀が跳ねて止まったりしないように稽古しましょう。

「三本目 受け流し」は刀の鎬を使い抜き上げます。受け流し動作は体を守るために行いますので上体を庇う意識が疎かにならないように稽古しましょう。

また動作が止まらないように一連動作で行ってください。

「六本目諸手突き」は前後3人の敵です。複数の敵に対する体捌きが緩慢にならずキレが出るように稽古しましょう。「七本目三方切り」は2回の振りかぶり方が受け流しになりますので、手首、肘が硬く

ならず滑らかに振りかぶるように稽古しましょう。

「八本目顔面当て」は柄頭で両眼の間を突きます。後ろの敵には水月を突きますのでどちらも正確な高さでつけるように稽古しましょう。

全体的には技を正確に演武することは大切ですが、居合道は対敵動作ですので形にとらわれすぎないように自然に体を動かしながら行うように稽古しましょう。

そのためには上体は脱力し下半身は堅固に保つことが大切です。

柄の握り方や切り下ろしの刀の軌道は基本に忠実に正しく行えるように研究してください。

毎回の稽古を有意義な時間とし稽古することが合格に向けての近道です。

継続して更なる修行を期待しています。

以上